



鉄筋継手部検査技術者技量検定委員会
委員長 嵐山 正樹

鉄筋継手部検査技術者技量検定規定等の改正について

1. はじめに

鉄筋継手部の超音波試験方法に関する規格は、ガス圧接継手はJIS Z 3062（鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準）、溶接継手は日本鉄筋継手協会規格JRJS 0005（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準）、機械式継手は日本鉄筋継手協会規格JRJS 0003（機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準）が定められている。

JIS Z 3062は2014年6月、JRJS 0005及びJRJS 0003は2017年5月にそれぞれ改正された。

本協会は、これらの改正内容に合わせて、鉄筋継手部検査技術者技量検定規定等の改正を行い、本年6月15日に施行した。

2. 改正概要

鉄筋継手部検査技術者技量検定規定の主な改正内容は次のとおりである。

<主な改正内容>

(1) 検査作業可能範囲

- ・ガス圧接継手の検査作業可能範囲は、JIS Z 3062：2014に合わせて鉄筋径「D19～D51」から「D16～D51」に拡大した。
- ・機械式継手の検査可能範囲は、JRJS 0003：2017に合わせて鉄筋径「D19～D51」から「D10～D51」に拡大した。

(2) 超音波実技試験方法

- ・溶接継手の超音波実技試験は、JRJS 0005：2017に基づく「二面振動子斜角探触子によるK走査法」にて行う。ただし、平成30年3月31日までに開催される検定試験までは、JRJS 0005：2008に基づく「直角K走査法及び斜めK走査法の併用法」でも良いこととする。
- ・機械式継手の超音波実技試験は、JRJS 0003：2017に基づく「SVコーナーエコー法」にて行う。ただし、平成30年3月31日までに開催される検定試験までは、JRJS 0003：2015に基づく「表面SH波法」

の従来の超音波試験方法を用いても良いこととする。

(3) その他

- ・受験者の利便性を鑑み「鉄筋継手部検査技術者技量検定規定」と「鉄筋継手部検査技術者技量検定実施細則」を一本化し、「鉄筋継手部検査技術者技量検定規定」とした。

なお、本年末までに平成30年4月1日以降の超音波探傷・測定実技試験の各種別の試験時間の改正を行う予定である。

3. JRJS 0003及びJRJS 0005の購入について

JRJS 0003：2017及びJRJS 0005：2017は、本協会にて発行、販売を行っている。

本協会ホームページ「刊行物案内」から購入手続きを行うことができる。

それぞれの規格の価格は次のとおりである。

○JRJS 0003：2017

会員：1,020円、一般：1,540円

○JRJS 0005：2017

会員：1,020円、一般：1,540円

4. 探触子の購入について

「二面振動子斜角探触子」及び「表面SV波探触子」の価格や購入については、次に紹介する主なお問合せ先にご相談いただきたい。

表1 探触子の主なお問合せ先

地 区	主なお問合せ先	
関 東 以 北	(株)日光溶材 信明ゼネラル(株)	TEL 048-224-2151 TEL 03-3578-1351
中 部 地 区	(株)KS-NET中部 (株)ダイア名古屋営業所	TEL 052-324-9131 TEL 0568-67-6136
関 西 地 区	(株)KS-NET関西 (株)ダイア大阪営業所	TEL 0729-60-6085 TEL 06-6720-6648
西 日 本 地 区	(株)NKS (株)ダイア福岡営業所	TEL 093-961-7799 TEL 092-503-8169